



大和郡山市 定例記者会見

(令和7年11月)

日時: 令和7年11月28日(金)

11時～

場所: 大和郡山市役所

4階 小会議室

【報道資料】

- ① 副読本「大和大納言秀長さん～もう一人の天下人～」の完成
(学校教育課)
- ② 「第14回 水木十五堂賞」受賞者発表及び授賞式
(企画政策課)
- ③ ワンコイン浸水センサ実証実験への参加について
(建設課)
- ④ 郡山城天守台プロジェクションマッピング
(まちづくり事業課)
- ⑤ 第24回 やまところりやま人権フェア
(人権施策推進課)
- ⑥ 天理大学公開講座「大和学」への招待－郡山の歴史と文化2－
(まちづくり戦略課)
- ⑦ 令和7年 第4回市議会定例会の議案説明

※記者会見終了後、引き続き、

「大和郡山イルミネーション 2025」の発表を行います。



令和7年11月28日

報道資料

件 名	副読本「大和大納言秀長さん～もう一人の天下人～」の完成
日 時	12 月上旬
場 所	各学校に配布
概 要	大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送決定を受けて作成を進めていた副読本は、本市歴史アンバサダーである平山優氏の監修のもと、マンガ家のすずき孔氏の作画により、ついに完成しました。 12 月上旬に、市内の中学生全員と小学5～6年生に配布し、本市の教育大綱に掲げる「郷育」の一環として、各学校において授業で活用します。 内容は4部構成となっており、生い立ちから始まり、武士として織田信長の家臣の一員となり、兄秀吉の天下統一を側で支え続けた様子、さらに、豊臣秀長が郡山城に入城し、さまざまな施策を展開し、街が大きく発展していく様子が描かれています。また、随所に豊臣秀長がどのような人物だったのかが伺える様子も描かれています。 その他、歴史学者の柴 裕之先生をはじめとするコラム、作中に登場する人物相関図、年表や関連する場所の地図などが詰め込まれた一冊となっています。 この冊子は教材として作成しましたので、一般向けの販売は予定していません。
問 合 せ	教育委員会事務局 学校教育課 指導係 坂口・学務係 野間 電話 0743-53-1151(内線728)



令和7年11月28日

報道資料

件 名	「第14回 水木十五堂賞」受賞者発表及び授賞式
日 時	令和8年2月14日(土) 13時30分～(受付:13時～)
場 所	DMG MORI やまと郡山城ホール
概 要	【趣旨】 大和の歴史や文化など幅広い分野に関する蒐集と博識から、いつしか「大和の水木か、水木の大和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人であり、本市に縁のある偉大な先人である水木要太郎(十五堂は雅号)の功績にちなみ、歴史、伝統文化、自然など様々な分野において、蒐集を行うとともに博識をもって社会に貢献した人物を表彰します。(平成24年度から創設。) 水木十五堂賞選考委員会[千田 稔 委員長(奈良県立図書情報館長)]により、第14回受賞者は、全国各地を訪れ、地域ごとに違う数百点にのぼるしめかざりを調査しながら蒐集するとともに、しめかざりの保存、研究、啓発活動の面でも貢献されている 森 須磨子 氏 に決定しました。 【概要】 ・授賞式(賞状、記念品、副賞(50万円)の授与) ・受賞記念講演 ・記念座談会 森 須磨子 氏(第14回水木十五堂賞受賞者) 神崎 宣武(民俗学者) 岡本 彰夫(奈良県立大学客員教授) 西谷 大(国立歴史民俗博物館長) 上田 清(大和郡山市長) ・蒐集品展示(ホールロビーにおいて) 参加希望者は、住所・名前・電話番号・参加人数(3名まで)を電話・FAX・メールにて下記へ。大和郡山市ホームページ(https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/)からも申込可能。(申込み受付は、12月8日(月)から開始。)(参加費無料・要申込) 【主催】 水木十五堂賞運営協議会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会】
問合せ	大和郡山市 総務部 企画政策課 山本 電話 0743-53-1160・FAX 0743-53-1049 E-mail:mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp

第十四回

水木十五堂賞



Mizuki
jyugodo

授賞式

しめかざり探訪
～正月のころに出会う旅～

森 須磨子

Mori
Sumako

大和郡山市の偉大な先人「水木十五堂」。

大和の歴史、文化など幅広い分野に関する蒐集と博識から

いつしか「大和の水木か、水木の大和か」と評されるようになりました。

この功績にちなみ、歴史、伝統文化、自然など様々な分野において、

蒐集を行うとともに博識をもって社会に貢献した人物を表彰します。

受賞者

森 須磨子氏

受賞記念講演

◆記念座談会◆

森 須磨子（第14回水木十五堂賞受賞者）

神崎 宣武（民俗学者）

岡本 彰夫（奈良県立大学客員教授）

西谷 大（国立歴史民俗博物館長）

上田 清（大和郡山市長）

※授賞式の内容については、変更の可能性もありますので、ご了承ください。

令和8年 2月14日 土 13:30～

DMG MORI やまと郡山城ホール 近鉄郡山駅より徒歩7分



「収集家100年の軌跡—水木コレクションのすべて」
（国立歴史民俗博物館展示図録）より

入場無料
先着240人
要申込

申込・
問合せ

12月8日(月)から。住所・名前・電話番号・参加人数(3人まで)を電話・FAX・メールで右記へ。大和郡山市ホームページからも申込み可。
※申込みいただいた方には、後日、参加券を郵送します。

水木十五堂賞運営協議会事務局

〒639-1198 (住所不要) 大和郡山市役所企画政策課
TEL: 0743-53-1160 FAX: 0743-53-1049
E-mail: mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp

大和郡山 水木 検索



水木十五堂

みずき じゅうごどう (1865-1938)



水木十五堂翁(高田十郎「奈良百題」より)

M i z u k i j y u g o d o

本名は水木要太郎(みずき ようたろう)。十五堂は雅号(がこう)。

幕末の元治2(1865)年1月15日、現愛媛県伊予市の生まれ。

松山中学校、東京高等師範学校に学んだ後、明治23(1890)年3月、奈良県尋常師範学校教員心得として奈良県に転住して以来、40数年にわたり大和郡山(豆腐町)に居を構え、奈良県尋常中学校(郡山中学校、現郡山高校)教諭、奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)教授、奈良帝室博物館学芸委員を歴任。

大和の歴史や地誌の研究を進める一方、漢詩、和歌、俳句、書画、狂歌から茶道、演劇等を通じ、多くの文人や芸術家と交流し、幅広い分野であらゆる収集を行い、その数7,000点あまり、『水木コレクション』として、今日に受け継がれている。

中近世の古文書、近世の刊本、近世から近代の絵地図、文化人の書状など多岐にわたる膨大な資料群であり、学術的に貴重な資料も多く含まれている。

特に異彩を放つのが、『水木の大福帳』と呼ばれる半紙四分の一大の帳面であり、300冊以上にものぼる大福帳には、多くの学者や文人、芸術家などあらゆる階層の人たちが署名やコメント、似顔絵などを残している。まさに時代の息吹が直接伝わる貴重な資料である。

これら大和の歴史や文化に関する「博識」から、いつしか「大和の水木か、水木の大和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人としての地位を確立し、昭和13(1938)年6月1日逝去、享年74歳。

(別紙)



もり すまこ

森 須磨子

1970 年 香川県生まれ。幼少期を香川、愛媛、埼玉で過ごしたのち東京へ。

1993 年 武蔵野美術大学卒業。卒業制作をきっかけに「しめかざり」への興味を抱く。

1996 年 武蔵野美術大学大学院造形研究科修了。

その後、同大学芸術文化学科助手を経て、エディトリアルデザイナーとして独立。デザインの仕事と並行し、日本各地へしめかざりの調査・収集を続ける。

2017 年 それまでに収集したしめかざりのうち、269 点を武蔵野美術大学へ寄贈。

しめかざりに関する展示、出版、講演など活動多数。

主な展覧会に「寿ぎ百様 ～森須磨子しめ飾りコレクション～展」（公益財団法人四国民家博物館 2015 年）、「しめかざり ～祈りと形～展」（武蔵野美術大学民俗資料室ギャラリー 2017 年）、「渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり展」（公益財団法人せたがや文化財団生活工房 2020 年）。

著書に『しめかざり』（福音館書店・2010 年）、『しめかざり～新年の願いを結ぶかたち～』（工作舎・2017 年）、『しめかざり探訪記』（工作舎・2024 年）がある。

《選考理由》

注連縄(しめなわ)研究の目的で全国を訪ね、聞き取り調査をし、注連縄の保存・普及・啓発活動にも取り組み、その際に蒐集した注連縄は数百点にのぼる。このような森須磨子氏の研究活動などにもとまう、注連縄蒐集に水木十五堂賞を授賞する。

氏の全国的に蒐集した注連縄の藁(わら)によって作られたデザイン(形)は多様であり、その造形の美しさに、それぞれの地域の人々が込めた想いが伝わる。氏の蒐集した注連縄について新聞・テレビなどでも広く紹介され、各地の展覧会で展示された。2020年にこれまでの集大成ともいえる展覧会「渦巻く知恵、未来の民具 しめかざり」が開催された。著書として単行本「しめかざり～新年の願いを結ぶかたち～」(工作舎)、絵本「しめかざり」(福音館書店)などがある。氏の蒐集した注連縄のうち 269 点は武蔵野美術大学に寄贈された。

《森 須磨子 氏 受賞コメント》

このたびは栄誉ある水木十五堂賞を賜り、身に余る光栄に存じます。

正月のしめなわ・しめかざりは、一般的にその時期が過ぎるとお焚き上げされ、「モノ」も「記憶」も残りづらい民具です。20 年ほど年末年始の日本各地を歩いてきましたが、「実物」を収集するとともに、その根底にある「人の思い」を現代に繋げることが大切だと感じております。

これからも賞に恥じぬよう、精進してまいります。

◎受賞者本人への取材は下記にて対応可能します。

E-mail : sma@moridesign.jp

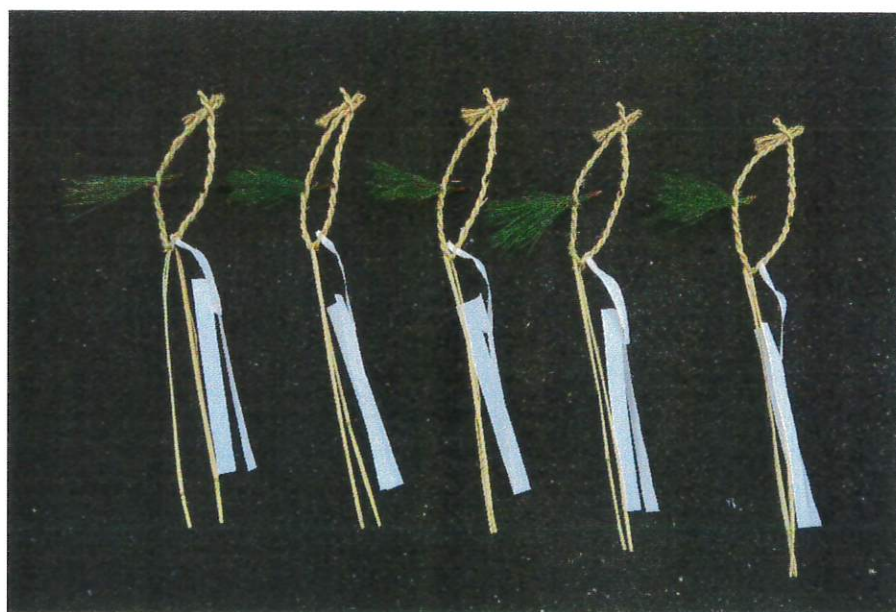
(連絡はメールのみでお願いします。)

◎当市から授賞式の写真提供は可能です。

【収集品】

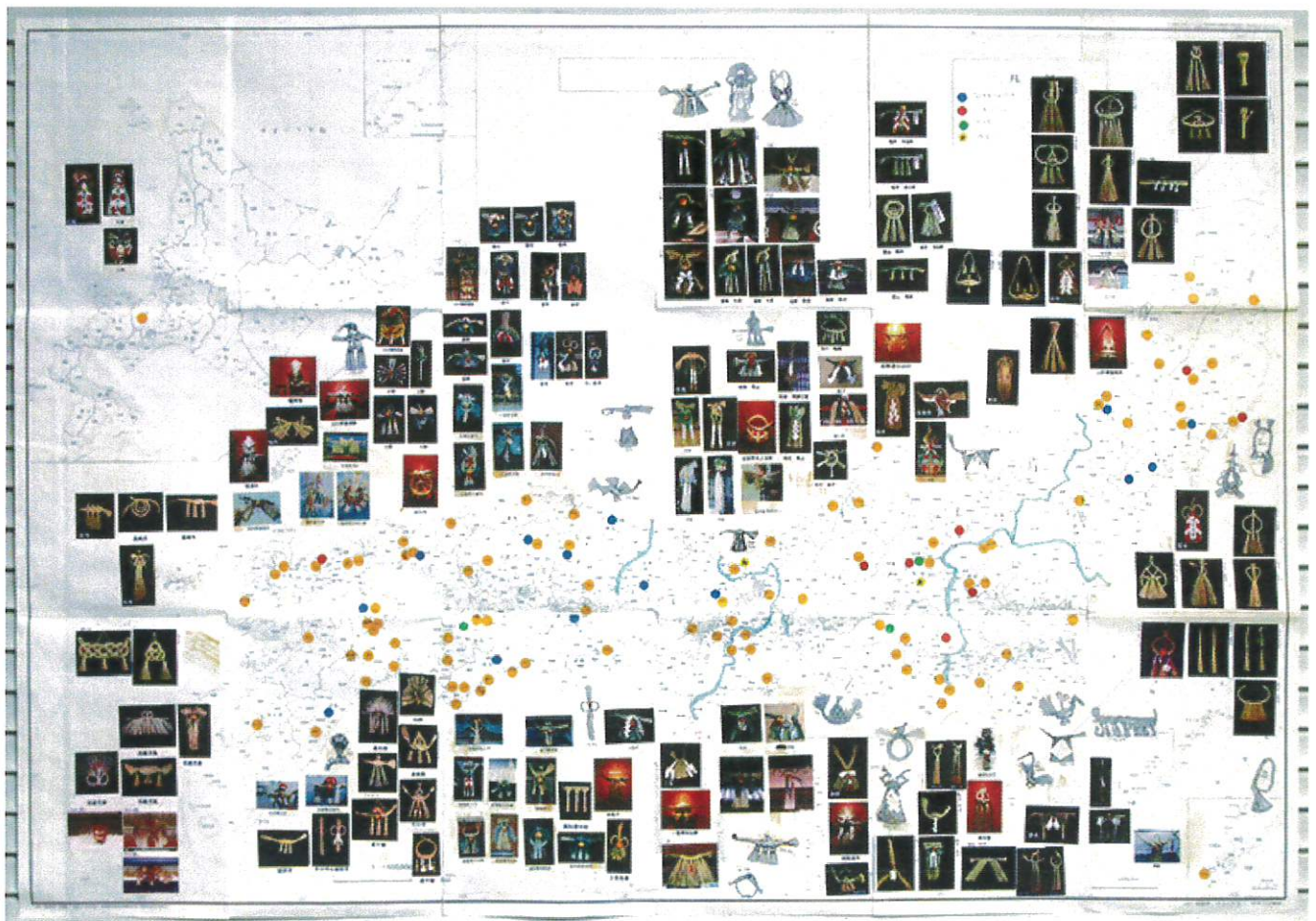
しめかざり数百点

収集品写真





しめかざり探訪地図



水木十五堂賞 選考委員会

委員長 千田 稔 (奈良県立図書館長)

副委員長 神崎 宣武 (民俗学者)

委員 岡本 彰夫 (奈良県立大学客員教授)

委員 西谷 大 (国立歴史民俗博物館長)

委員 瀧浪 貞子 (京都女子大学名誉教授)

委員 武田佐知子 (大阪大学名誉教授)

委員 柳澤 保徳 (公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会副理事長)

委員 吉田栄治郎 (公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会研究員)

委員 上田 清 (大和郡山市長)

(令和7年10月1日現在)



令和7年11月28日

報道資料

件 名	ワンコイン浸水センサ実証実験への参加について
日 時	令和7年10月16日より順次運用開始
場 所	
概 要	【ワンコイン浸水センサ実証実験の目的】 近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者がセンサを設置し、センサの特性や情報共有の有効性等を検証するものです。 【大和郡山市が参加する狙い】 国土交通省が主体となって行っている実証実験に本市が参加することで、水害対応において、迅速な避難情報発令及び通行規制の判断につなげることができ、また、同じく参加している他市町村と情報共有することができ、広大な流域の浸水状況をお互いに把握できます。 【浸水センサ設置箇所】 別紙のとおり 【設置箇所選定理由】 昭和57年8月豪雨以降3回以上浸水している地域(浸水常襲地域)内にあることや、水防活動をするうえで浸水頻度が特に高く、緊急性が高い箇所などを基準に5箇所選定しました。 【参加している自治体】 令和7年10月9日時点で、全国233自治体が参加しており、奈良県内では大和郡山市の他に、田原本町、川西町、橿原市が参加しています。
問合せ	大和郡山市 都市建設部 建設課 杉村・小笠原 電話 0743-53-1151(内線613)

九条町（蟹川）



西観音寺町（蟹川）



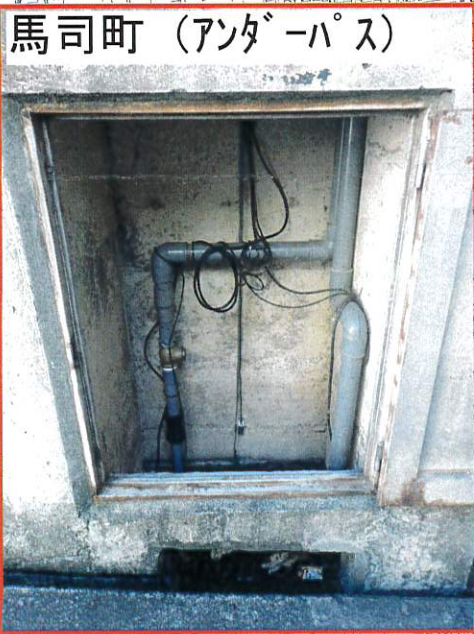
下三橋町（アンダーパス）



稗田町（稗田排水路）



馬司町（アンダーパス）



記者会見／クラブ配付



令和7年11月28日

報道資料

件 名	郡山城天守台プロジェクションマッピング
日 時	令和7年12月6日(土)18時～19時40分 ※雨天中止。
場 所	郡山城跡・常盤郭
概 要	【趣旨】 普段とは異なる視点から郡山城の壮大な石垣を体感してもらうため、映像と音楽によって表現する「3D プロジェクションマッピング」を実施します。 実施にあたっては、「教育研究の成果を社会還元する機会づくり」、「地域活性化に寄与する若者の人材育成」を通し、大和郡山市の地域活性化に寄与する事業を相互に協力して実施することを目的として締結された市・阪南大学・奈良工業高等専門学校による地域連携事業に関する連携協定の成果として、学生が企画・制作したプロジェクションマッピングを披露します。 【主催】 郡山城にぎわいづくり実行委員会 【概要】 時 間:1部 18時～18時40分・2部 19時～19時40分 内 容:プロジェクションマッピングのテーマ「～秀長と大和郡山～」 1部 ①城下町のまちづくり(20分) ②プロジェクションマッピング(15分) 2部 ①生成 AI の活用に関する講演(20分) ②プロジェクションマッピング(15分) 参加費:無料 定 員:各部150人 ※特設観覧席での観覧申込は当日受付します。 ※特設観覧席以外からも観覧することができます。 その他の催し:天体観測コーナー・商工会等による食販
問合せ	大和郡山市 都市建設部 まちづくり事業課 西森・植田 電話 0743-53-1151(内線631)

郡山城にぎわいづくり事業

HPはこちらから



郡山城天守台 プロジェクションマッピング

2025年 12月6日(土)

1部 18時00分～18時40分 2部 19時00分～19時40分

郡山城跡常盤郭 特設観覧スペース

当日受付(各部:先着150名) 入場無料

1部 ①城下町のまちづくりに関する講演

阪南大学経済学部 准教授 櫻井靖久氏

2部 ①生成AIの活用に関する講演

奈良工業高等専門学校情報工学科 助教 市川嘉裕氏

両部 ②プロジェクションマッピング ～秀長と大和郡山～

阪南大学総合情報学部 教授 赤井良行氏

奈良工業高等専門学校情報工学科 教授 内田真司氏

※雨天中止(中止決定の場合は大和郡山市ホームページに掲載します)

※特設観覧スペース以外からもご観覧いただけます。

※写真はイメージ画像です。阪南大学と奈良工業高等専門学校の学生によるもので、この画像とは異なります。

主催/郡山城にぎわいづくり実行委員会

共催/大和郡山市・大和郡山市観光協会・柳澤神社・明日のお城と城下町を考える会・郡山女性ネットワーク・大和郡山市商工会

●問い合わせ/郡山城にぎわいづくり実行委員会事務局(大和郡山市役所まちづくり事業課) TEL 0743-53-1151(内線631)



令和7年11月28日

報道資料

件名	第24回 やまときおりやま人権フェア
日時	令和7年12月6日(土) 受付:12時30分 開会:13時
場所	DMG MORI やまと郡山城ホール 小ホール
概要	【趣旨】 国連が1948年12月10日の第3回総会で、基本的人権尊重の普遍的な原則を定めた「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年第5回総会において、12月10日を「人権デー」と定め、毎年、この「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。この「人権週間」にあたり、あらためて人権問題に理解を深め、人権意識を高めていただくとともに、サブテーマでもあります「人と人が互いに支え合うことのできる人権のまちづくり」の実現を目指すことを目的に開催するものです。 【概要】 ① 第24回人権ショートレター入賞作品発表(各部最優秀賞・優秀賞の朗読) ② 矢田小学校 矢ッターキッズⅡによる和太鼓演奏 ③ 映画上映「破戒」 島崎藤村の原作「破戒」を2022年に映画化。 出演 間宮祥太郎、石井杏奈、矢本悠馬 ほか ④ 特設人権相談所 場 所 市役所交流棟みりお～の2階 交流ルーム2 開設時間 10時～12時 (入場無料・予約不要)
問合せ	大和郡山市 市民生活部 人権施策推進課 山口・広瀬 電話 0743-53-1151(内線332) FAX 0743-53-1211

間宮祥太郎さん 石井杏奈さん 出演

映画 破戒 上映

あらすじ

瀬川丑松（間宮祥太郎）は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（眞島秀和）に傾倒していく。



© 全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

第24回 やまとこおりやま

人権フェア

～人と人との互いに支え合うことのできる人権のまちづくり～

2025(令和7)年

12/6 土

13:00～16:00
(受付12:30)

入場
無料
予約不要

DMG MORI
やまと郡山城ホール 小ホール

手話通訳・
要約筆記あり



◎第24回 人権ショートレター入賞作品発表

各部 最優秀賞・優秀賞の作品朗読

◎和太鼓演奏

矢田小学校 矢ッターキッズⅡ



◎第24回 人権ショートレター入賞作品展示

小ホールホワイエにて展示

第8回 人権いきいきさろんも兼ねています。

◎特設人権相談所

市役所交流棟みりおへの2階 交流ルーム2

10:00～12:00

※予約不要

※午前11時現在で和歌山県に警報が発令されている場合は中止です。

※集会当日は会場の駐車場（2時間を超えると有料）の数には限りがあります。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

〈主催〉 大和郡山市人権のまちづくり推進協議会

〈共催〉 大和郡山市・大和郡山市教育委員会

お問い合わせ

大和郡山市 人権施策推進課

TEL. 53-1151(内線332)

FAX. 53-1211



令和7年11月28日

報道資料

件 名	天理大学公開講座「大和学」への招待 －郡山の歴史と文化2－
日 時	令和7年12月 14 日(日) 13 時～16 時(12 時開場)
場 所	DMG MORI やまと郡山城ホール 小ホール
概 要	【趣旨】 天理大学主催の講座「大和学」への招待－郡山の歴史と文化2－を下記の内容で開催します。 同講座は平成 29 年から開催しており、令和 7 年度は豊臣秀長をテーマに、歴史学・考古学の講師による講座を開きます。 講座後は、大和郡山市長、柳沢文庫保存会副理事長を交えて、討論を行います。 【概要】 第1講:『秀長のまちづくり・くにづくり』 (講 師)天理大学 文学部歴史文化学科 天野 忠幸 氏 第2講:考古学から見る秀長の郡山城 (講 師)大和郡山市役所 まちづくり戦略課 保存活用係 十文字 健 氏 討 論:講座への質疑／郡山城からの発信 講師および大和郡山市長、公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会副理事長 【参加申込】 不要(入場無料、先着 300 名) 【主催】 天理大学 【共催】 大和郡山市、公益財団法人 郡山城跡・柳沢文庫保存会 【後援】 NHK奈良放送
問合せ	天理大学社会連携センター室 電話 0743-63-9007 大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 文化財保存活用係 十文字 電話 0743-53-1759(直通)

天理大学公開講座 2025

「大和学」への招待 ―郡山の歴史と文化 2―



「順慶・秀長と郡山城」

第1講

「秀長のまちづくり・くにづくり」

講師：天理大学人文学部歴史文化学科教授 天野忠幸

第2講

「考古学からみる秀長の郡山城」

講師：大和郡山市役所 都市建設部まちづくり戦略課

文化財保存活用係 十文字 健

討 論

大和郡山市長

(公財)郡山城史跡・柳沢文庫保存会

上田 清

柳澤保徳

天野忠幸

十文字健

12月14日(日) 13:00～16:30

場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール (12:00開場)

申 込：不要 [定員 300 名] (無料)

共 催：天理大学 / 大和郡山市 /

公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会

後 援：NHK 奈良放送局

問合せ：tel 0743-63-9007 (天理大学社会連携センター室)

天理大学公開講座「大和学」への招待

一郡山の歴史と文化2ーのお知らせ

【第1講】

テーマ：『秀長のまちづくり・くにづくり』

講 師：天理大学 文学部歴史文化学科 天野 忠幸 氏

内 容：大和郡山は、織田信長より大和の支配を任された筒井順慶によって築かれました。そして、豊臣秀吉の弟の秀長が大和・紀伊・和泉を拝領すると、その居城となり、本格的なまちづくりが始まります。秀長の治めた郡山、そして大和は、戦国の世から泰平の世へ時代が移り変わる中、どのように変化していったのかを見ていきます。

【第2講】

テーマ：考古学から見る秀長の郡山城

講 師：大和郡山市役所 まちづくり戦略課 保存活用係 十文字 健 氏

内 容：天正13年、秀長は郡山城に入城すると、城郭を豊臣政権により畿内統治の拠点として大規模に整備しました。以後、郡山城は幕藩体制下も大和国の要所として機能し、廃城後も骨格が都市に継承されました。本講座では、今日まで都市の礎として引き継がれている秀長の城づくりについて、掘削調査や石垣の解体修理の成果から実態に迫ります。

【討 論】講座への質疑／郡山城からの発信

講師および大和郡山市長、公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会
副理事長（予定）

日 時：12月14日（日）13:00～16:30（開場12:00より）

場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール（小ホール）

主 催：天理大学

共 催：大和郡山市、公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会

後 援：NHK奈良放送

※申込不要・入場無料（先着順300名まで）

※最新情報は天理大学HPでご確認ください。

問い合わせ先 天理大学社会連携センター室

電話 0743-63-9007 ホームページ <https://www.tenri-u.ac.jp/>

市担当：まちづくり戦略課文化財保存活用係（内線733）



令和7年11月28日

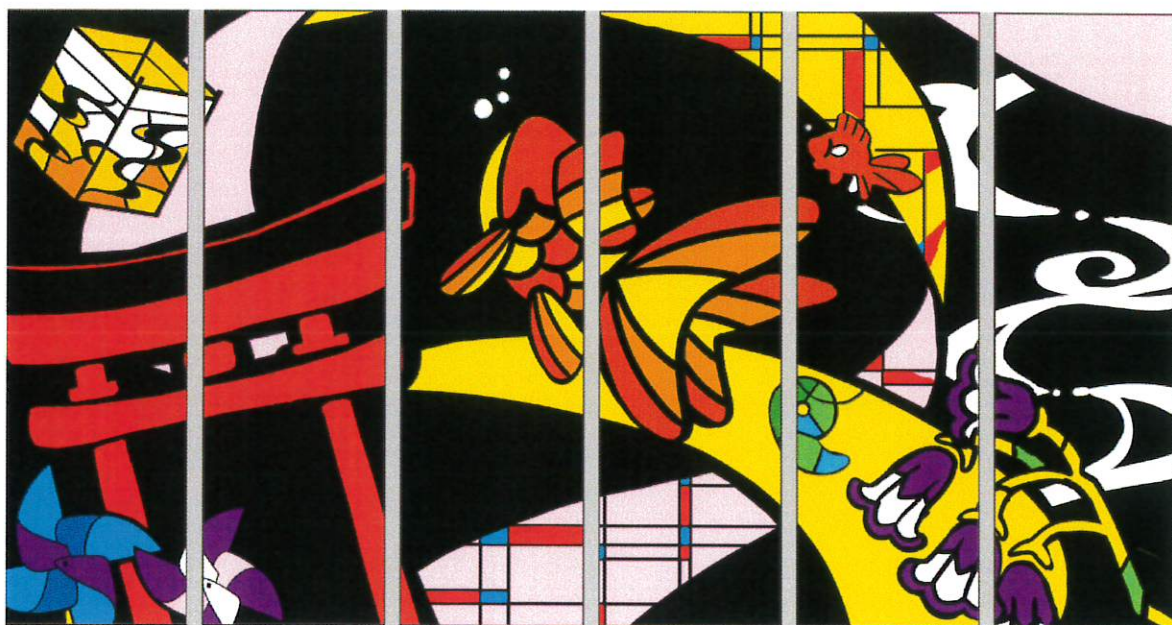
報道資料

件名	大和郡山イルミネーション2025
日時	開催期間: 令和7年11月28日(金)～令和8年2月8日(日) 点灯時間: 日没後(17時～17時30分)～21時30分
場所	DMG MORIやまと郡山城ホール(無料駐車場はありません)
概要	【概要】 大和郡山市の冬を彩る大和郡山イルミネーション2025、今年も関西文化芸術高等学校の生徒がデザインしてくれました。 ◆生徒の皆さんからのコメント 「全校生徒でウィンドウアートの制作とイルミネーションの電球設置に取り組んできました。 電飾では、ステンドグラス風のウィンドウアートに合わせ、青・白・ゴールドの光で表情をつくり、7万球以上の電飾で水や光の流れを表現しています。 ウィンドウアートは大河ドラマ「豊臣兄弟！」をきっかけに、大和郡山市らしさが伝わるよう、郡山城や金魚、豊臣家の家紋である桐の花を大きく配置しました。キャッチフレーズ「秀長の残した輪」をモチーフに、帯を輪のようにつなげて絆を表現しています。和柄や風車など日本らしい装飾も見どころです。 イルミネーションデザインでは、三色の光のみで個性をどう発揮するか悩み、広い会場での作業をまとめることにも苦労しました。 ウィンドウアートリーダーとしては「1mmのズレも許さない」という気持ちで文化委員を率い、その分とても満足のいく作品に仕上げることができました。」 【点灯式・縁日】 11月28日(金)は点灯式を行うと共に縁日も開催します。 子どもから大人まで楽しんでいただけるお店が出店予定です。 今年の締めくくりに元気城下町バスパークで楽しんでください。 点灯式: 令和7年11月28日(金)17時30分～(約30分程度) 縁日: 令和7年11月28日(金)16時～19時30分 会場: 元気城下町バスパーク
問合せ	大和郡山イルミネーション実行委員会事務局 大和郡山市 産業振興部 地域振興課 岡本・北内 電話0743-53-1608・FAX0743-55-4911



(大和郡山イルミネーション2024の様子)







【全体のイメージ】

